

日本の成長戦略：知財を「富」に変える新次元のエコシステム

構造的ボトルネック：日本が直面する「負の連鎖」

解決の道筋：IPトランスフォーメーションと新産業政策

戦略分野：2040年の目標と知財戦略



需要側政策（公共調達）による「出口」の創出

防衛調達などで政府が最初の買い手となり、企業が安心して重産・IP投資できる環境を整備。



社会実装を阻む「死の谷（デスバレー）」
優れた技術があっても、市場創出のロードマップが不足し、商業的成功に結びつかない。

法・技術・契約の「三位一体」アプローチ
AI時代の複雑な権利関係を、法律だけでなくアクセス制限技術やライセンス契約で多層的に捍衛。

イノベーションボックス税制の拡充

知財による所得の30%を控除。令和8年度からは中小企業の赤字繰越にも対応。

フィジカルAI

世界シェア30%超（20兆円）

日本の製造業データとハードの融合による「第三経」の確立

半導体（国内生産）

売上高40兆円

System to Siliconの設計能力確保とデジタル主権の維持

防衛（ドローン）

8万台供給体制（2030年）

特定国依存からの脱却と、政府調達による市場の機制創出

高技術・低生産性の罠

一部の先端企業のみが知財を独占し、経済全体の生産性や実質賃金が停滞する現象。



富